

2007年8月1日

各位

会社名 スミダコーポレーション株式会社
 代表者名 代表執行役 CEO 八幡 滋行
 (コード 6817 東証第一部)
 問合せ先 コーポレートオフィス 合澤 仁志
 オフィサー
 (TEL. 03-3667-3382)

2007年12月期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ

2007年5月8日に公表いたしました2007年12月期(2007年1月1日～12月31日)の第2四半期及び上半期の連結業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

2007年12月期(2007年1月1日～12月31日)の第2四半期及び中間期の連結業績予想を下表の通りに修正いたします。

なお、2007年12月期通期業績予想に変更はございません。

(単位：百万円)

第2四半期連結業績予想	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想 (A) (2007年5月8日発表)	17,300	1,000	800	480
今回予想 (B) (2007年7月27日発表)	18,400	1,250	1,800	600
増減額 (B-A)	1,100	250	1,000	120
増減率	6.4%	25.0%	125.0%	25.0%

(単位：百万円)

中間期連結業績予想	売上高	営業利益	経常利益	半期純利益
前回予想 (A) (2007年5月8日発表)	34,188	1,705	1,363	835
今回予想 (B) (2007年7月27日発表)	35,288	1,955	2,363	955
増減額 (B-A)	1,100	250	1,000	120
増減率	3.2%	14.7%	73.4%	14.4%

2. 修正の理由

(1) 第2四半期予想

①売上高

前回予想比 6.4%増となる見込みです。これはコイルビジネスのレガシー事業、VOGT を中心としたオートモーティブ事業が順調に推移したためです。

②営業利益

増収効果により 1 億 80 百万円、Jensen Devices AB について第2四半期より連結子会社から除外することとしたために 60 百万円の営業利益が前回予想より増加する見込みです。

③経常利益

ユーロ高の影響で為替差益が発生したこと及び Arima Devices Corp. を期首に遡って持分法適用会社から除外することしたため経常利益が前回予想より増加する見込みです。

④四半期純利益

経常利益が増加したことに加えて、連結子会社の勝美達電子股份有限公司(英文表記: Taiwan Sumida Electronics Inc.) の資産売却による売却益が発生いたしました。

(注1)

一方で投資有価証券評価損を計上したり(注2)、インバータ事業や VOGT の東欧における構造改革費用が発生しましたが、四半期純利益は前回予想より増加する見込みです。

(2) 中間期予想

第2四半期予想と同じ理由によるものです。

(3) 通期予想

当社グループでは、現在大規模な構造改革を実施中です。構造改革の進捗により連結業績が変動する可能性がありますので、現時点では通期予想の変更はいたしません。

注1 : 勝美達電子股份有限公司の資産売却に関する詳細は、本日公表いたしました「固定資産の売却に関するお知らせ」をご覧ください。

注2 : 投資有価証券評価損に関する詳細は、本日公表いたしました「投資有価証券評価計上に関するお知らせ」をご覧ください。

以上